

令和4年3月18日 若洲ゴルフリンクスのコース内で**特定外来生物のアライグマ**が発見されました。

アライグマは、動物由来感染症の媒介のおそれがあり、北米では「狂犬病」の主要媒介動物となっている他、「アライグマ回虫症」の発生も報告されていますので、これらの予防のため、**接触を避けて下さい。**

※安全確認のため、スタッフが巡回を強化しております。

お客様で目撃した際は、絶対に近づかず スタッフへお声がけください。

(特に樹木の上などに御注意ください)

### ◎アライグマの危険性

アライグマは、アライグマ回虫による幼虫移行症・狂犬病といった、人間にも感染する病原体を保有している可能性があります。

特に、糞尿や血液、唾液、また、ダニなどの寄生虫には、危険な病原体が存在する可能性があります。むやみに**近づいて触ろうとしたり、エサをあげたりしないで下さい。**

野生動物に餌付けをすると、動物は人の食べ物の味を覚え、これらに依存するようになります。さらに、人を恐れなくなり様々な被害を発生させる原因にもなりますので、**餌を与えることはやめて下さい。**

### ◎アライグマの特徴

1. 目の周りの黒いマスク模様が特徴です。
2. 尾にリング状の5本から7本の縞模様があります。
3. 雑食性です。
4. ハクビシンと比べて気性が荒く凶暴であり、注意が必要です。  
(サイズは中型犬くらいの大きさ、頭から尾の先まで70から90センチメートル。体重は4から10キログラム程度)



(若洲海浜公園内で撮影されたアライグマ)